

# 雑木林と8つの家

コンセプトブック

『まちなか森暮らしな日々』



—— 雑木林と8つの家への思い ——

今、時代は変わろうとしています、

このままでよいはずはないと思う暮らしのありよう、

でも今までの価値観がどう変わるのだろうか、

どう変えてゆけばよいのか、

とまどいながら、忙しくすぎていく日々……、

暮らしの環境を、思い切り、これからの時代に合わせて変えてみる。

太陽、土、風、雨、自然の恵みと難しさを、五感で感じ、

巡る季節に、変わる小鳥の声で目覚める暮らし。

木々の生命に包まれた空間で、しなやかで逞しく育つ子ども。

木々は子どもと同じ、手をかけながら、自らが教わる。

この地を心のより所として、風景も文化も皆で育てる、

かけがえのない一日一日の暮らし、

新しい「豊かさ」のなかで過ごして欲しくて、

『まちなか森暮らし』を提案しました。

—— まちなか森暮らしな日々 ——



わたし  
(ナビゲーター)  
年齢：38歳  
血液型：O型  
趣味：菜園づくり

市内での暮らしは自宅の周辺にスーパーなどが揃い便利です。でも……、自然や近所との触れ合いのない暮らしにわたしは息が詰まるような感じがして、それに、むすこの成長にも良くないと思っていました。そんな時、『雑木林と8つの家』を知りました。

その後早速『雑木林と8つの家』に携わる方々に話を聞きに行きました。話の中で惹かれたのが『まちなか森暮らし』というコンセプト。駅やスーパーが近く生活の利便性が良く、その上雑木林を通じて自然や近所の人々と温かく触れ合う機会のある暮らしを意味するのだそう。『雑木林と8つの家』の目指すのは、一昔前の里山のような暮らしなのです。まさに、わたしがこれまで思い描いていたものでした。

今日はわたしが、『雑木林と8つの家』に携わる方々に代わって、ここで暮らす我が家の様子を想像しながら『まちなか森暮らし』を紹介します。



わたしのむすこ  
年齢：6歳  
(小学1年生)  
血液型：O型  
趣味：ゲーム



わたしのダンナ様  
年齢：40歳  
血液型：A型  
職業：  
鹿児島市内の広告代理店勤務  
趣味：読書

『真ん中のまち』

まず、『雑木林と8つの家』のある始良市について紹介するわね。

始良市は鹿児島県の中央にあるから、例えば、霧島の温泉に行くにも、天文館に買い物に行くにも、ダンナ様が通勤するにもとっても便利なのよ。

鹿児島市内で生活していると、始良での暮らしはちょっと不便かなって思ってしまうけど、全然そんなことはないの。『まちなか森暮らし』なのよ。



鹿児島空港まで自動車  
で30分

霧島まで自動  
車で60分

鹿児島中央駅  
まで電車で  
23分

天文館まで  
自動車  
30分

30分 (国道10号線)

23分 (JR日豊本線)

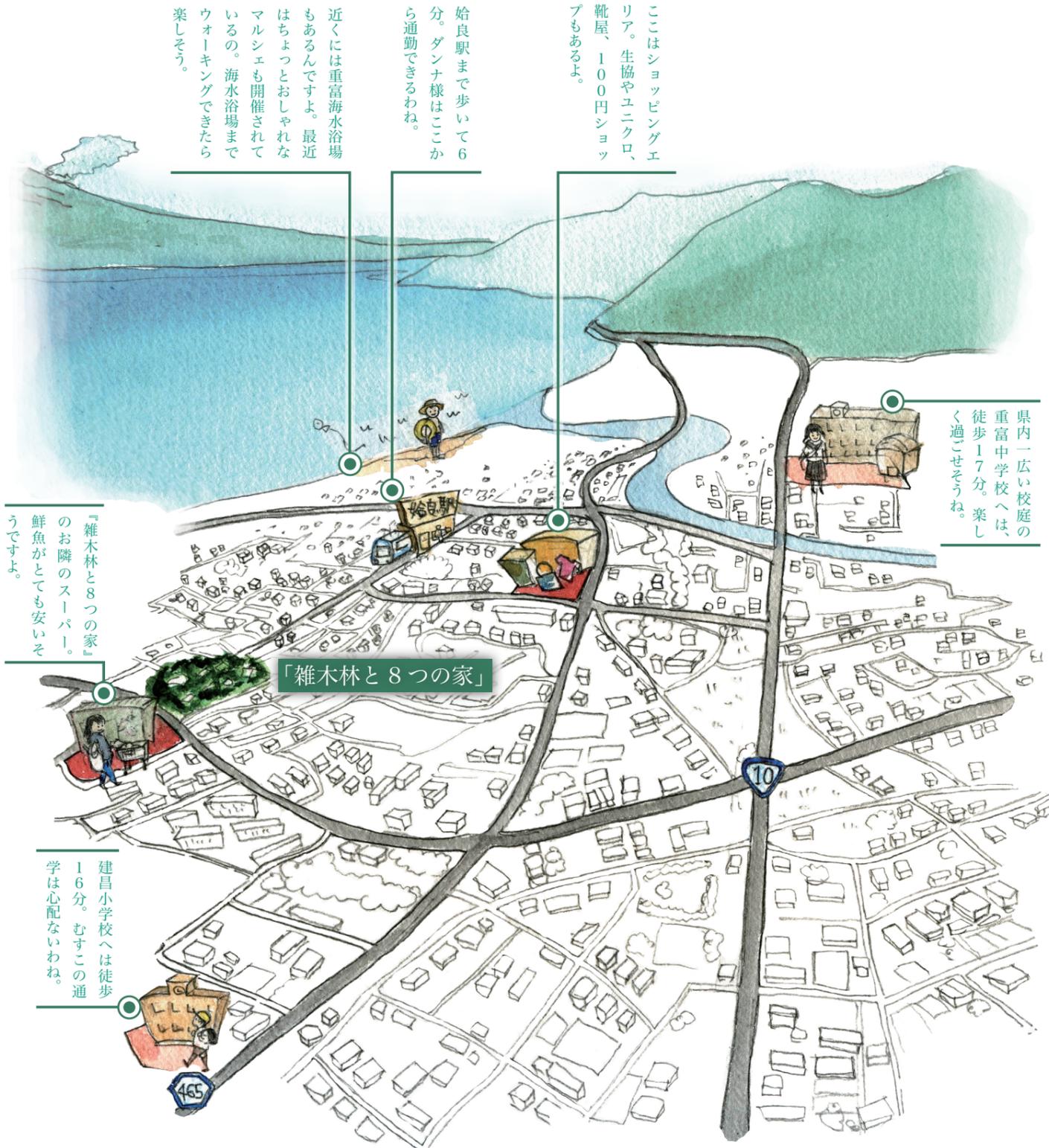


『生活しやすいまち』

『雑木林と8つの家』の周辺を見てみましょうね。

本当にまちの中に雑木林があるのね。まちなか森暮らしの意味がより分かるわ。歩いていける範囲内には、駅やお店や学校など何でも揃っていて、日常の買い物やダンナ様の通勤、子どもの通学にもとても便利なのよ。

それにまわりが平坦だから歳をとっても心配らないわね。



県内一広い校庭の重富中学校へは、徒歩17分。楽しく過ごせそうね。

ここはショッピングエリア。生協やユニクロ、靴屋、100円ショップもあるよ。

始良駅まで歩いて6分。ダンナ様はここから通勤できるわね。

近くには重富海水浴場もあるんですよ。最近はこちらもおしゃれなマルシェも開催されているの。海水浴場までウォーキングできたら楽しそう。

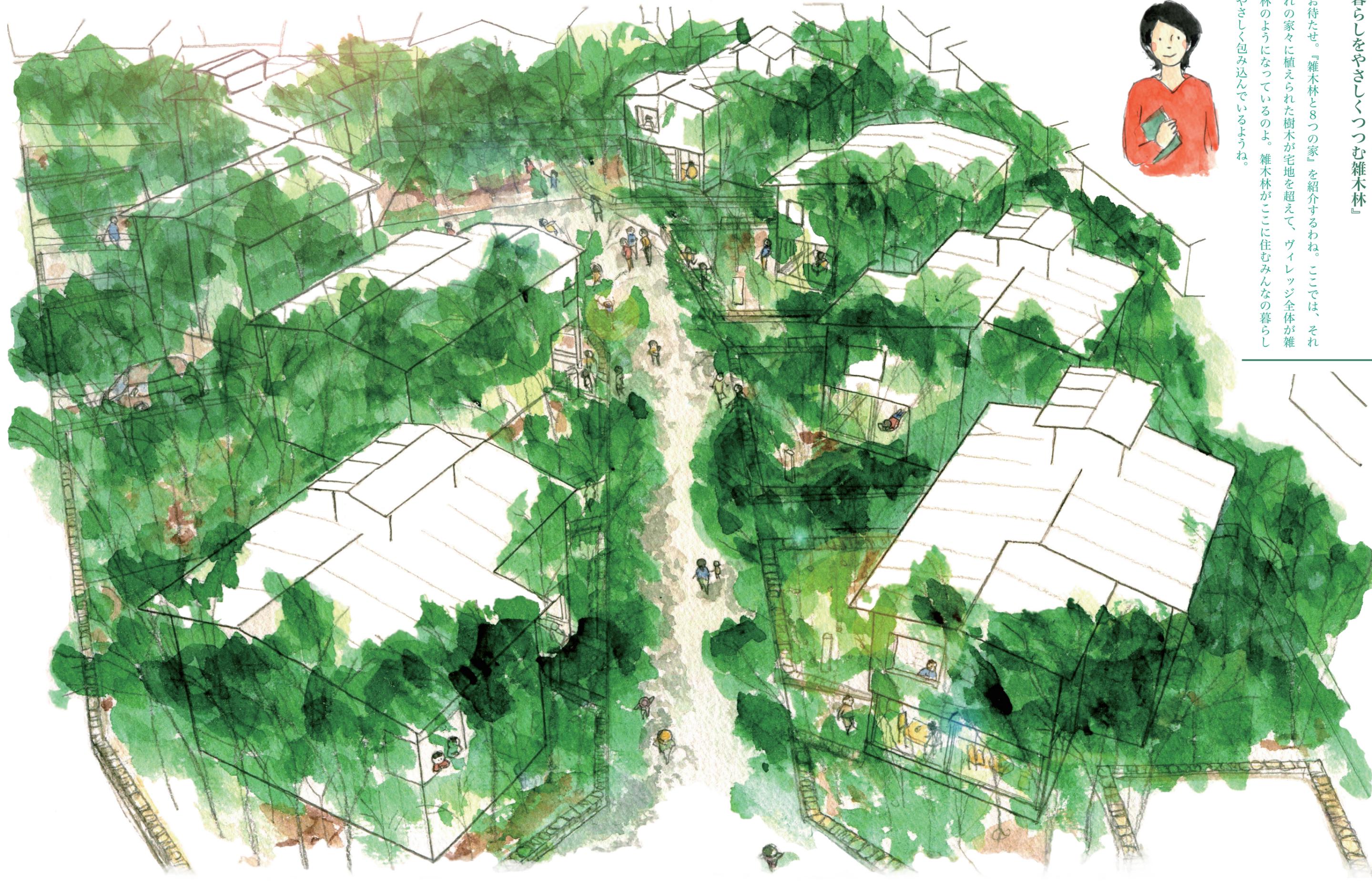
『雑木林と8つの家』のお隣のスーパー。鮮魚がとても安いんですよ。

「雑木林と8つの家」

建昌小学校へは徒歩16分。むすこの通学は心配ないわね。

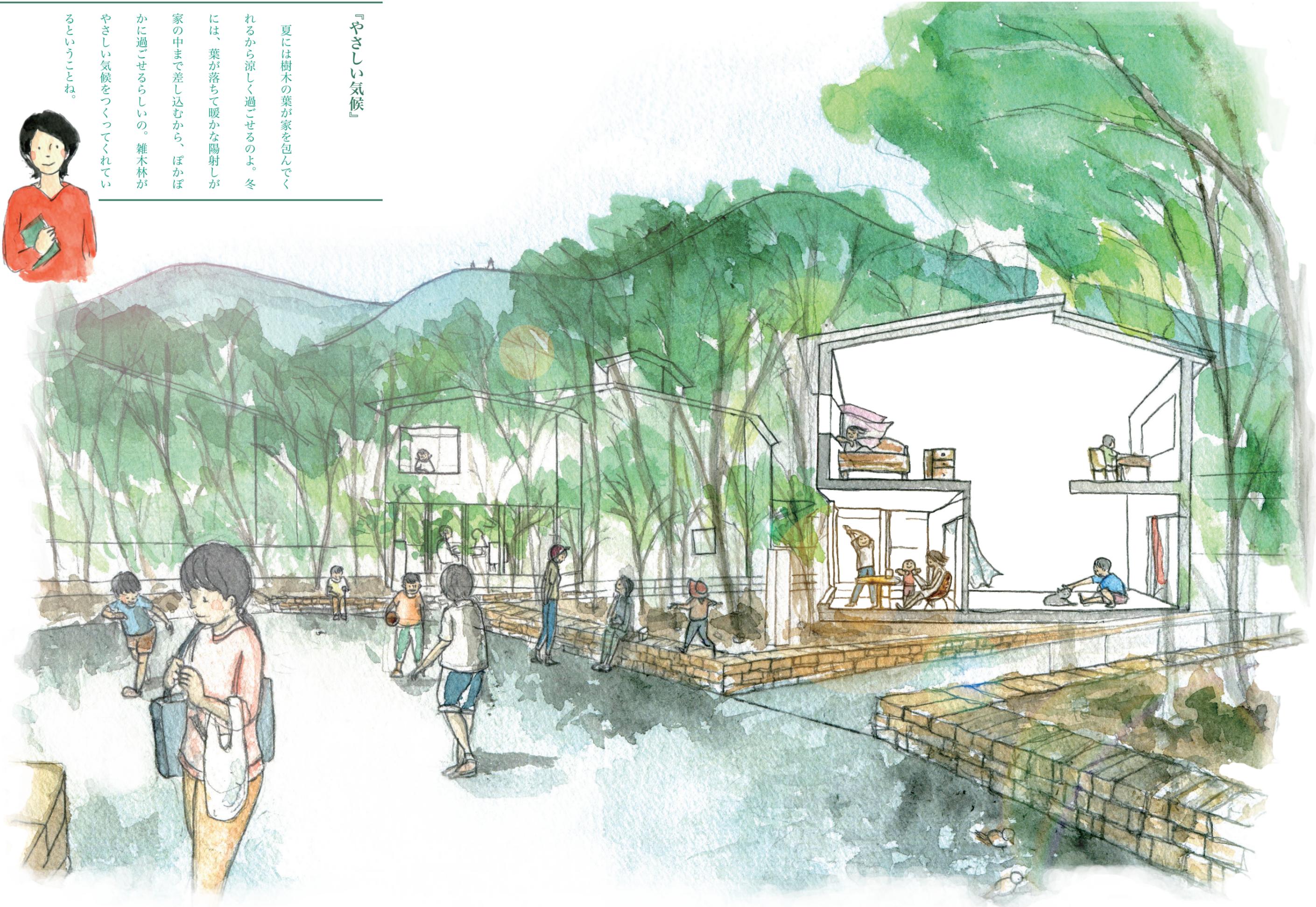
『暮らしをやさしくつつむ雑木林』

お待たせ。『雑木林と8つの家』を紹介するわね。ここでは、それぞれの家々に植えられた樹木が宅地を超えて、ヴィレッジ全体が雑木林のようになっているのよ。雑木林がここに住むみんなの暮らしをやさしく包み込んでいるようね。



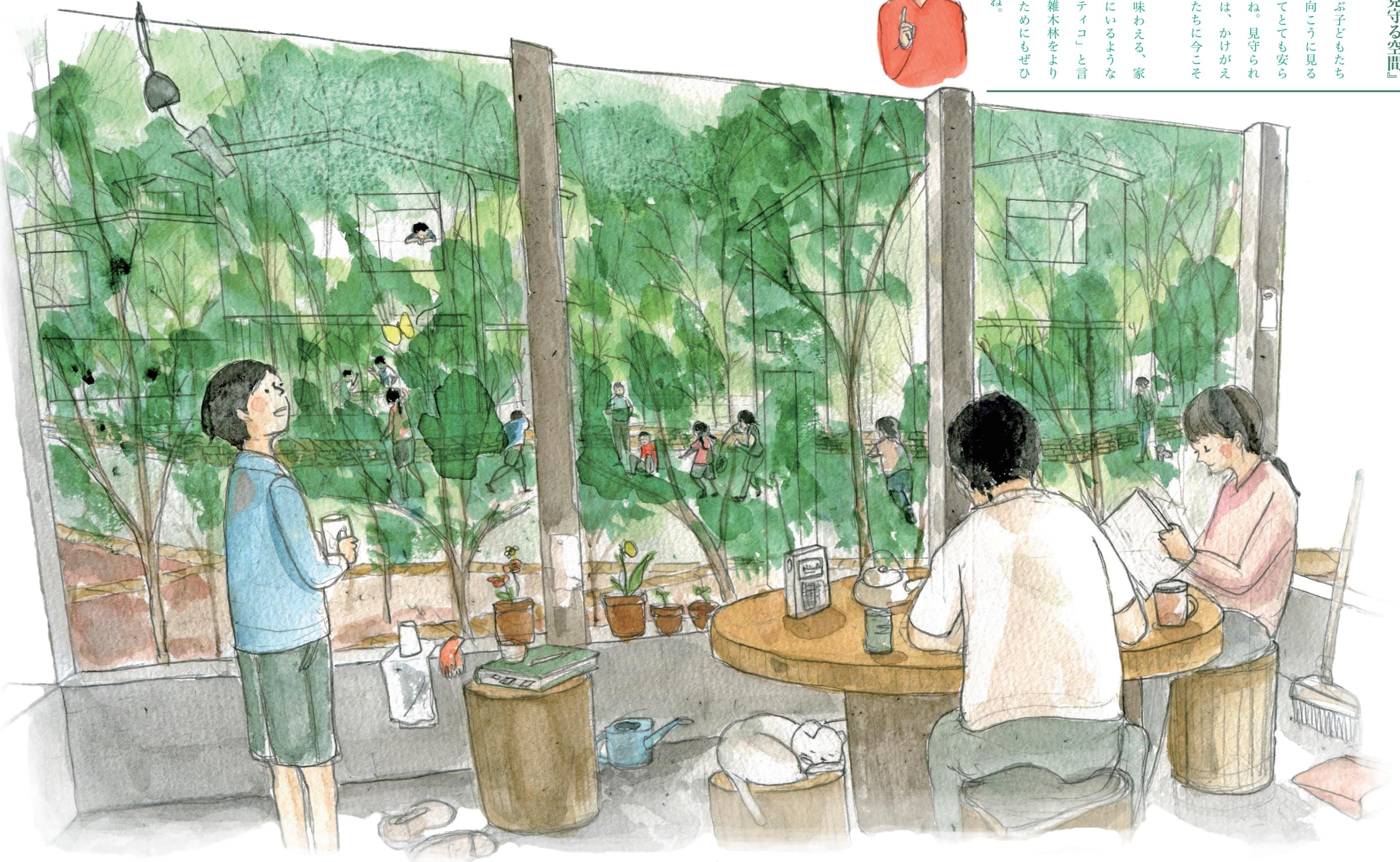
『やさしい気候』

夏には樹木の葉が家を包んでくれるから涼しく過ごせるのよ。冬には、葉が落ちて暖かな陽射しが家の中まで差し込むから、ぽかぽかに過ごせるらしいの。雑木林がやさしい気候をつくってくれていくということね。



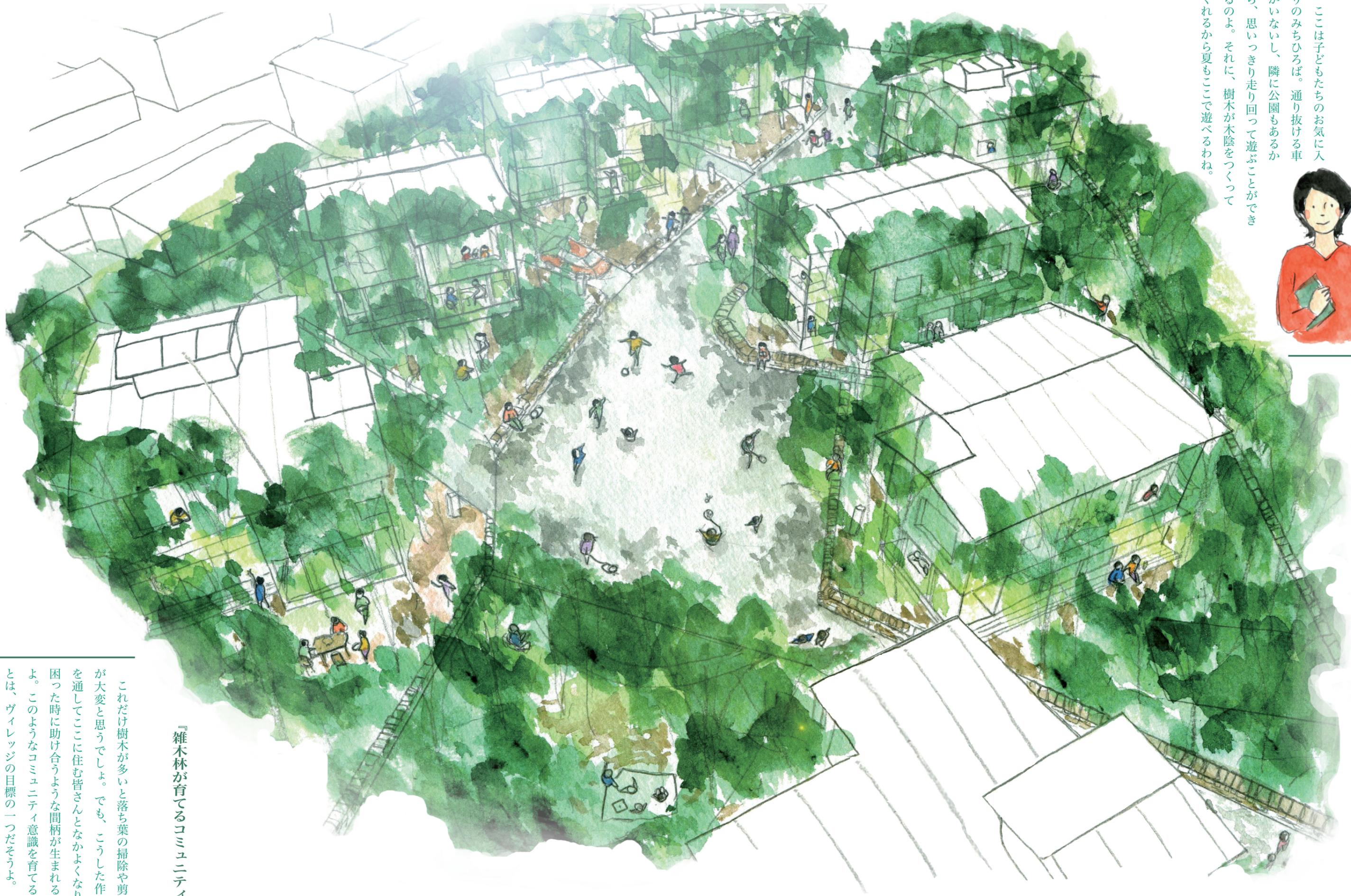
ひろばで遊ぶ子どもたちの姿を樹々の向こうに見るのは親にとつてとても安らぐひとときよね。見守られて遊べる環境は、かけがえない子どもたちに今こそ必要だわ。

この風景を味わえる、家の中にいて外にいるような部屋を「ポルティコ」と言うのだそう。雑木林をより身近に楽しむためにもぜひ作りたい空間ね。



『みちひろば』

ここは子どもたちのお気に入りのみちひろば。通り抜ける車がないし、隣に公園もあるから、思いっきり走り回って遊ぶことができるのよ。それに、樹木が木陰をつくってくれるから夏もここで遊べるわね。



『雑木林が育てるコミュニティ』

これだけ樹木が多いと落ち葉の掃除や剪定が大変と思うでしょ。でも、こうした作業を通してここに住む皆さんとなかよくなり、困った時に助け合うような間柄が生まれるのよ。このようなコミュニティ意識を育てることは、ヴェレッジの目標の一つだそうよ。

『いろいろな工夫』

これまでいろいろと紹介してきたけれど、他にもたくさん工夫と特徴があるの。この辺では見慣れない住宅地のつくり方だけど、それぞれにちゃんとした理由があると聞いたわ。子どもたちがのびのび楽しそうに遊んでいる様子が想像できるわね。



入り口に建つ家は、カフェなどのショップ兼自宅としても使えるそうよ。

【いろいろ使える家】

ヴィレッジへの入り口はここしかないから防犯にも安心。子どもたちへの心配もいらないわ。

【安全安心なヴィレッジ】

【太陽となかよく】

家は南に向くように配置されているの。夏の太陽を遮り、冬の太陽を最大限取り入れる工夫なの。

【樹木に守られて】

家が斜めに置かれて、家のまわりにも樹木が植えられているから、家の中がお隣さんから見ることがないよ。その上、家のどこでも窓から雑木林が見えるのよね。

【連なる風景】

ここでは塀を設けないの。すると、お隣さんの雑木林も自分の家の風景みたいに見えるでしょ。一筆の土地だけで風景を考えるのとは違うのよ。

【みどりの公園】

みちひろばに面して雑木林の公園もあるのよ。ここに暮らす人専用だからのんびりできるわね。



さあ、ここからは

それぞれの季節での『まちなか森暮らし』を紹介するわね。いっぱい楽しい想像がでさちやっつた。

『雑木林と8つの家』は四季が豊かな空間。ここで雑木林を眺めたり、菜園の手入れをしたり、ヴィレッジに住む皆さんとお話をしたりして毎日を過ごす、いろいろなことに気づきそうよね。



「むすこの登校。ヴィレッジの子どもたちが迎えに来てくれると、心配はいらないわね。」



「ヴィレッジ内にカフェができれば、ここに住む皆さんと食事会も楽しそう。なかよくなれたら良いな。」



「ポルティコは気兼ねなく使える空間。だから、なかよくなったママトモとお茶をするのに良さそうね。こういう空間があると皆さんとより打ち解けられそう。」

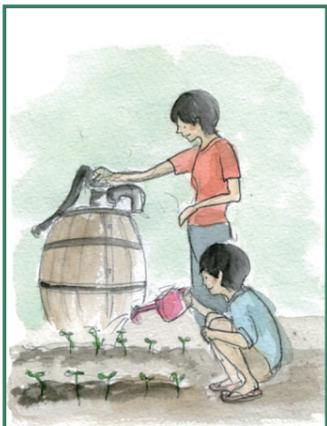


「夢の菜園づくりを始められそう。近所のお爺ちゃんに耕し方や苗植えなどを教えてもらえないかしら。」

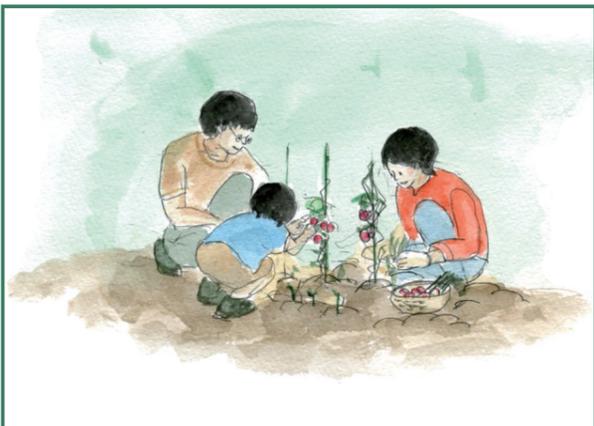
『春のまちなか森暮らし』  
春は新しい暮らしが始まる季節。『雑木林と8つの家』では、困ったことや分からないことがあっても、お互いに助け合う、そんなヴィレッジを目指しているのよ。



「むすこはいつもゲームばかりしているの。だから苗植えをさせて自然に触れ合って欲しいわ。」



「雨水タンクを置いたらどうですかって話があったけど、あれば水やりにも便利ね。」



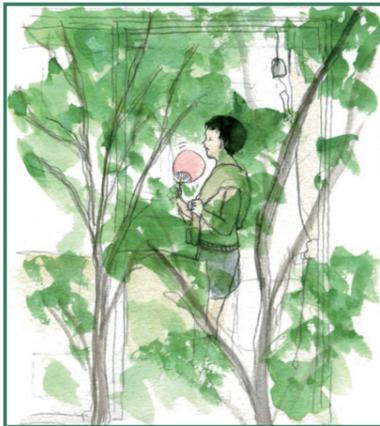
「むすこ植えた夏野菜の収穫を家族でできたら楽しそうね。その時のお昼ごはんは、採れたてのトマトとハーブを使った冷製パスタにしよう。」



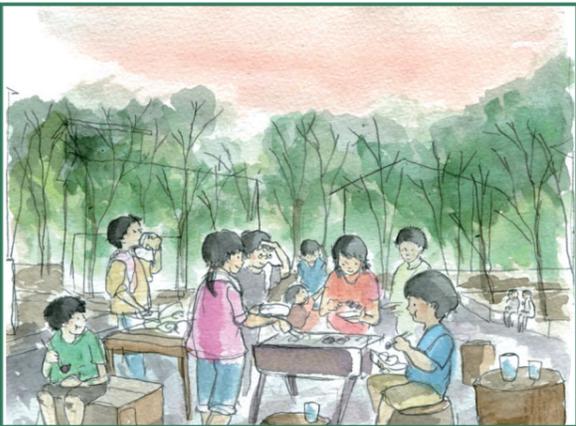
「たくさんお野菜を収穫してヴィレッジの皆さんにお裾分けしよう。喜ぶだろうな。」



「樹木が木陰をつくってくれるから暑い夏に外で遊ぶのも平気ね。」



「お隣さんから中が見えない家の置き方だからシャワーを浴びたダンナ様が下着でウロウロ出来るわね。」



「お野菜を持ち寄ってヴィレッジの皆さんとひろばでバーベキューもいいわね。わたしも子どもたちのように毎日が夏休みのようになりそう。」



「小鳥たちもここで過ごすのが好きそうよね。木にとまっている様子が想像できるわ。」



「みひろが家の目の前にあるからむすこや子どもたちが外で遊ぶのに心配いらないわね。」



「始良駅が近くて電車通勤が出来るからダンナ様に歓送迎会があっても迎えがいらないわね。そしたら助かるわ。」

『夏のまちなか森暮らし』  
夏は自然や緑を思いっきり感じる事ができる季節。『雑木林と8つの家』では雑木林に包まれ、日常の中で身近に自然を味わえるわね。



「むすこが自然や他の子どもたちとの触れ合いを通じてたくましくなってくれるとうれしいわ。ここで暮らすと夏休みの絵日記も変わるわね。」



「トンボが飛んで来たりもするんでしょうね。そういうふとした時に季節の移ろいを感じるんだわ。」



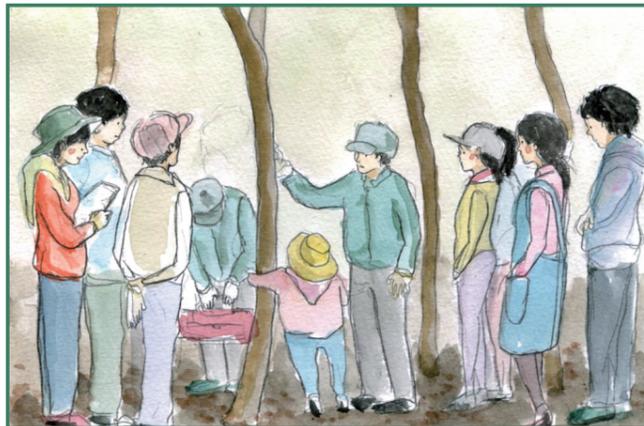
「落ち葉ひろいがこの時期日課になりそうね。でも、こういう時にヴィレッジの皆さんが声を掛けてくれるんだわ。こんなコミュニケーションを通じて安らぎを感じたりするのね。」



「寒くなると子どもたちも家の中にももりがち。でもここでは、雑木林を走りまわるむすこを想像できるわ。」



「読書好きのダンナ様がポルティコで本を読んでいるのを想像しちゃう。ひろばで遊ぶ子ども様を見守ることができるから良いわね。」



「大切な雑木林を守るために、剪定講習会が開かれるそうよ。樹々たちのお付き合いは長くなりそうだからいっぱい教えてもらわなきゃね。」



「樹木が紅葉したらぎつときれいだわ。」

『冬のまちなか森暮らし』  
1年の終わりと始まりを迎える季節。何かと慌ただしい時期だけど、『雑木林と8つの家』では何だか落ち着いて過ごせそう。自然や人に囲まれているからかしら。



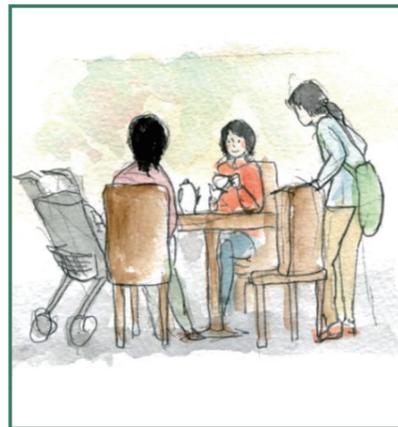
「天文館への買い出し。この時期は車が多いから始良駅から電車で行くのもいいわね。ここに住んでいると車を使う回数が少なくなりそう。」



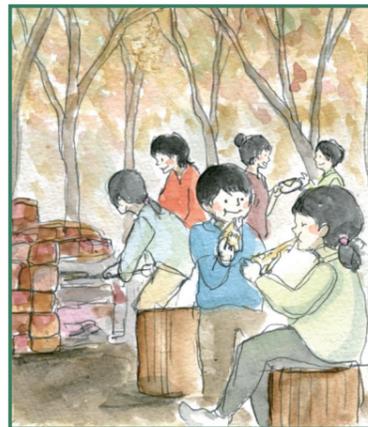
「ポルティコ内に暖かな陽射しが差し込むのを想像しちゃう。お掃除の休憩にちょっとひなたぼっこできそうね。」



「お隣にスーパーがあるから、むすこの運動会のお弁当づくりで買い忘れがあっても平気ね。」



「ママトモとヴィレッジ内のカフェで息抜きのティータイム。それができたら楽しいでしょうね。」



「公園にはピザ釜が置かれるのよ。薪には剪定で採った枝を使うみたい。手作りはぎつと格別ね。」



「ひろばでファーマーズマーケットが開催されるとうれしいわ。参加している農家さんの新鮮なお野菜が手に入ったり、作り方のコツを教えてもらえないかしら。」



「こうした暮らしがあると人の温かさを実感して新年を迎えられそう。」



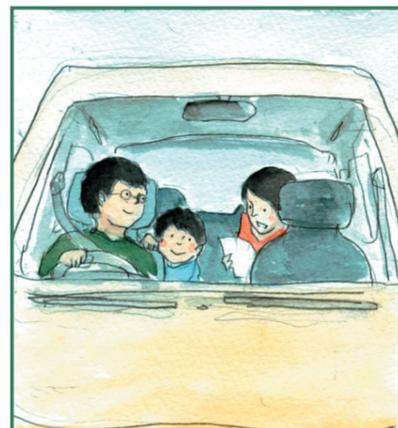
「皆さんとひろばで餅つきもできたら良いわね。白なんて持っていないから皆さんとだったら実現できるかも。子どもたちもこういう体験を通じていろんなことを学んでいくのね。」



「ダンナ様は忘年会や新年会が多く忙しい時期。光に照らされた雑木林がやさしく帰りを迎えてくれそうね。」



「生ゴミを再利用した肥料づくりを勧められた。大変かもしれないけど、手づくりの肥料でお野菜の成長を見るのは楽しそうね。」



「家族で霧島の温泉へ行きたいわ。始良からだ手軽に霧島まで行けるから便利ね。」

『秋のまちなか森暮らし』  
秋は何かとイベントの多い季節。『雑木林と8つの家』で大切にされている人との触れ合いをより感じる事ができそうね。

『雑木林と8つの家』での暮らしを想像しながら『まちなか森暮らし』を紹介してきました。

想像して最も感じたのが、人と自然、人と人の絆が大切にされているということ。これは子どもたちの今後の人生にとっても大事なことです。樹木の成長と共にここで時を積み重ね、『雑木林と8つの家』での暮らしが子どもたちのこころのふるさとなればとてもうれしい……………。



『雑木林と8つの家』では、『まちなか森暮らし』を実現するための家や庭（外構）に関する基準である『雑木林と8つの家スタンダード』が設けられています。

これは皆さんの家づくり庭づくりの出発点となるもので、皆さんの個性を活かし、ここにしかない風景や暮らしを創ることができるよう内容となっています。内容は別紙「風景づくりのいろは」雑木林と8つの家スタンダード」に掲載されています。詳しくはそちらを参照してください。『まちなか森暮らし』を味わえる風景を共に創りましょう。



『雑木林と8つの家』コンセプトブック ～まちなか森暮らしな日々～ 平成23年4月30日発行

販売主・企画・発行

(有) 始良土地開発

住所：〒899-5652 鹿児島県始良市平松7229-1

電話：0995-66-0248 FAX：0995-66-0269

ホームページ：[airatochikaihatu.com](http://airatochikaihatu.com)

プロジェクト協力会社：

(株) 高田造園設計事務所 (造園設計)、(株) グリーンライフ・コガ (造園施工)、(株) 石神測量設計 (測量設計)、  
(有) あいら工業 (造成工事)、(有) 是枝建設 (造成工事)、

松永安光+ (株) 近代建築研究所 (開発設計、スタンダード作成)

パンフレット制作・アート・ディレクション：山本聡 (松永安光+ (株) 近代建築研究所)

スケッチ制作：池崎晴菜 (鹿児島大学)